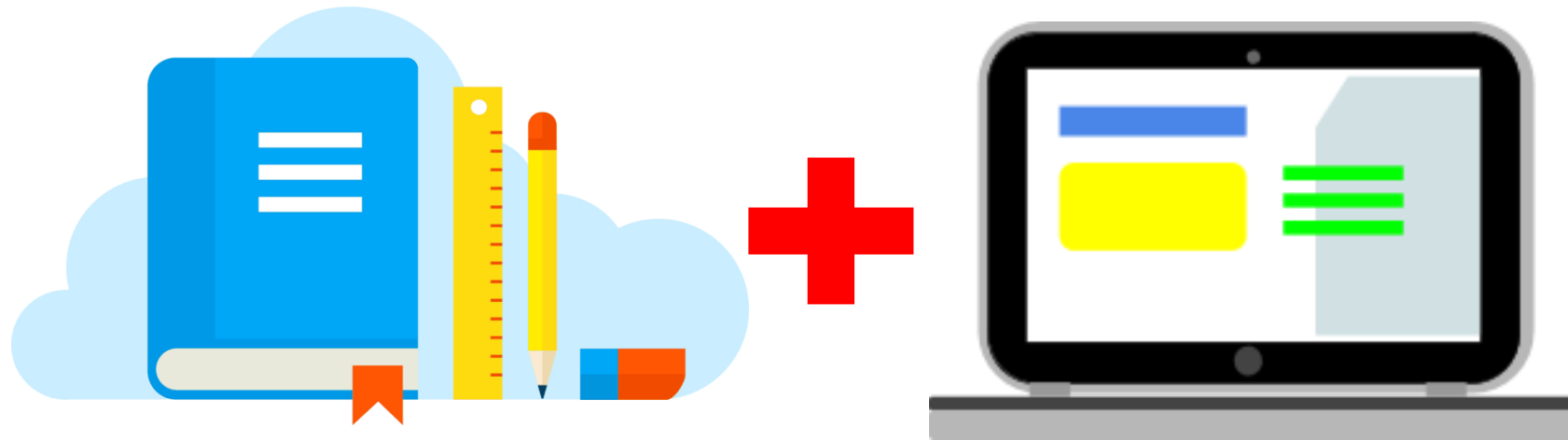


# I C T 教育の充実

アフターG I G Aに向けて



令和4年2月8日（火）10:00-

甲西支所2階会議室

# 令和3年度のGIGAスクールの 取り組みの成果と課題

南アルプス市教育委員会  
学校教育課

# GIGAスクール構想の実現とは・・・

- 学校に ※緊急時には家庭に持ち帰ることも想定

## 高速通信ネットワーク と

**一人一台端末**（クラウドベース）を整備して、

個別最適化された学習ができる環境をつくり  
誰一人取り残されることのない学びを実現する



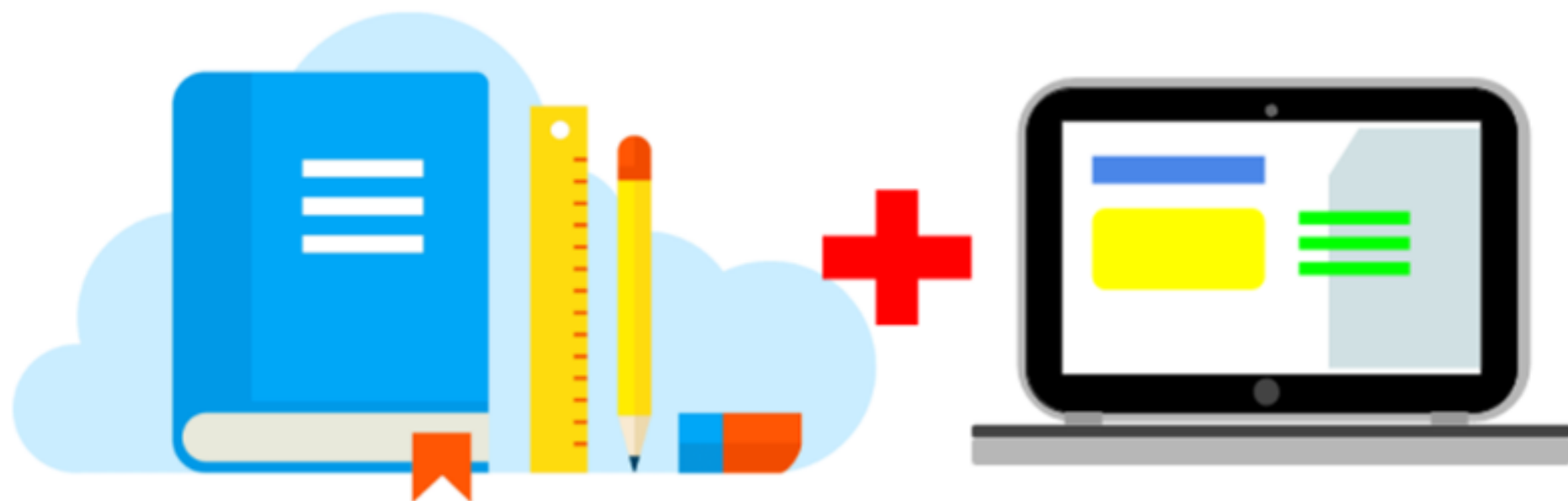
# 今年度からの本市のICT環境

全22小中学校に高速LAN

一人一台コンピュータ

クラウドアプリの活用

AIドリルによる適応学習



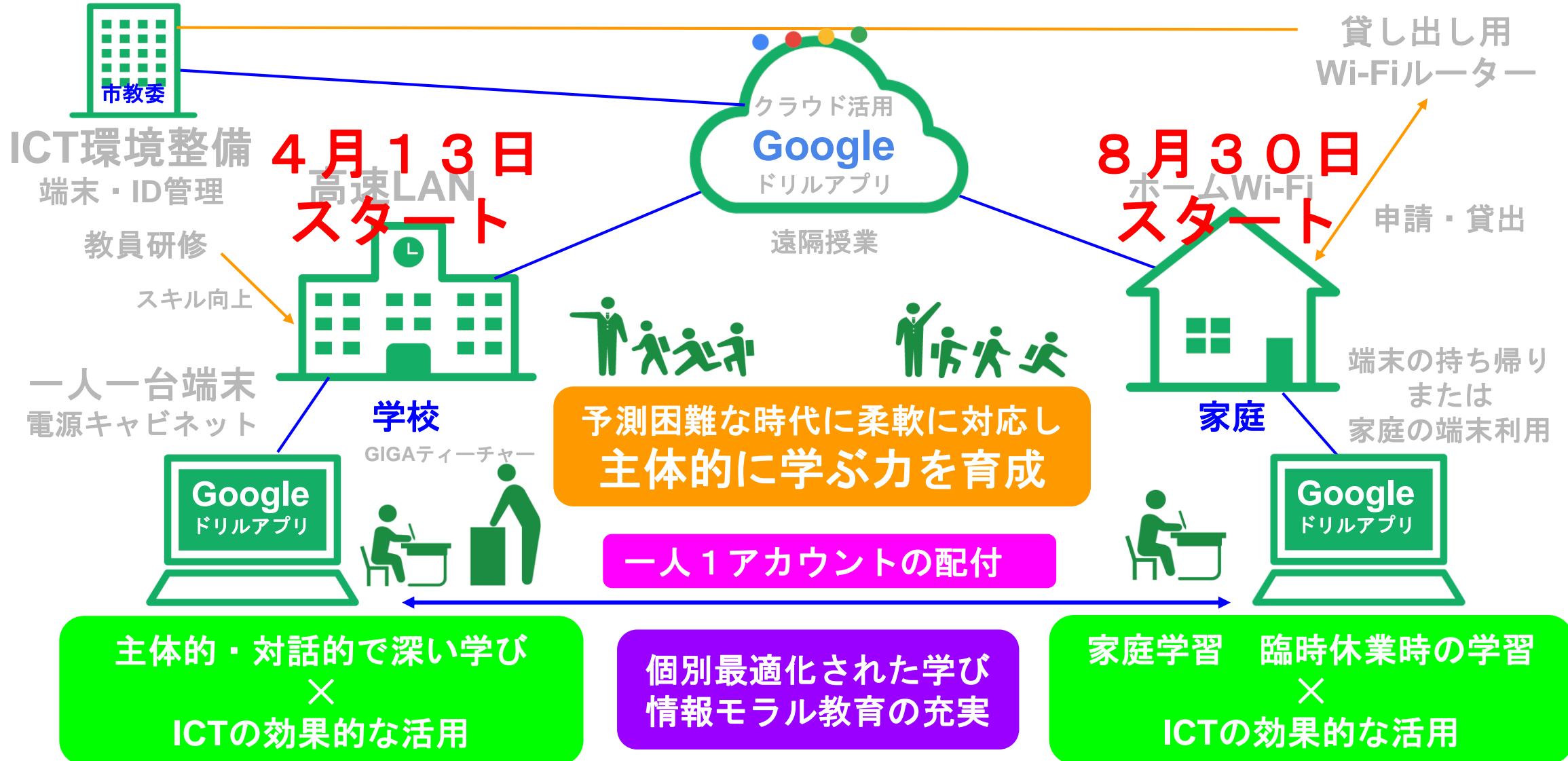
2021（令和3）年度スタート

南アルプスGIGAスクール

# 南アルプスGIGAスクール

学習指導要領  
南アルプス市教育振興プラン

全ての子供が学校でも家庭でもICTを積極的に活用した学びができるよう、ICT環境の整備と情報活用能力の向上を推進する



# 南アルプスGIGAせんげん

- ①友だちときょうかして、学び合うために  
コンピュータをつかいます。
- ②先生のいうことを聞き、ルールを守って  
コンピュータをつかいます。
- ③人のいやがることや  
人をきずつけるようなことはしません。

# 一人一台端末の整備 ⇒ 学びの充実

## 一 斉 学 習

これまで

電子黒板を用いるなど、子供たちの興味関心を高める工夫は可能

学びの深化

これから

一人一人の反応を踏まえたきめ細かな指導など双方向型の授業が可能





一人一台端末の整備 ⇒ 学びの充実

## 個別学習

これまで

全員が同時に同じ内容を学習

学びの転換

これから

各自が同時に別々の内容を学習、難易度に応じた個別学習や指導が可能



# 一人一台端末の整備 ⇒ 学びの充実

## 協働学習

これまで

グループ発表では、積極的な子と控えめな子で学びに違いが出てしまう

学びの転換

これから

一人一人が独自の視点で情報の収集や編集ができ、即時に共有や議論が可能に

## 目指す児童生徒の姿

低学年 . . . . QRコードを使って動画を見ることが出来る  
ドリルソフトで学習することが出来る  
手書き・音声入力

中学年 . . . . ローマ字入力でタイピングができる  
自分の調べたいことが検索できる  
オフィスソフトを活用して表現できる

高学年以上 . . . 必要なときに自ら判断して活用できる  
一人一台端末の学習への「トケコミ」 (高橋)

※端末の操作技能→資質・能力の育成

## 目指す教職員の姿

レベル0 : Chromebookの使い方のある程度理解し、  
Googleクラスルームが運用できる

レベル1 : アプリの共有設定を使い、  
「意見の見える化」などの協働作業ができる

レベル2 : 1つのアプリを使って授業ができる

レベル3 : 複数のアプリを組み合わせる授業ができる

レベル4 : 子供たちが自ら考えて利用できる授業を構想できる

# 情報モラル教育講演会（夏季休業中に配信）

南アルプス市教育委員会主催

## 南アルプスGIGAスクール「情報モラル教育」講演会

GIGAスクール時代の  
情報モラル  
について  
学びませんか？

南アルプス市の  
保護者は  
どなたでも  
視聴可能です



2021年 令和3年

7月27日(火)

9:00~

YouTube



配信開始！

9月末まで

視聴できます

！大人が知っとく！

## 子どもとネットの付き合い方

日時 令和3年7月27日(火) 9:00から

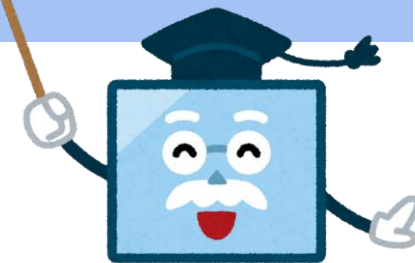
9月30日(木)12:00まで

YouTubeで限定公開をします。

講師 寺島絵里花さん

(一般社団法人 日本メディアリテラシー協会 代表理事)

# 南アルプスGIGAスクール 持ち帰り学習について



## コンピュータの持ち帰り学習の目的

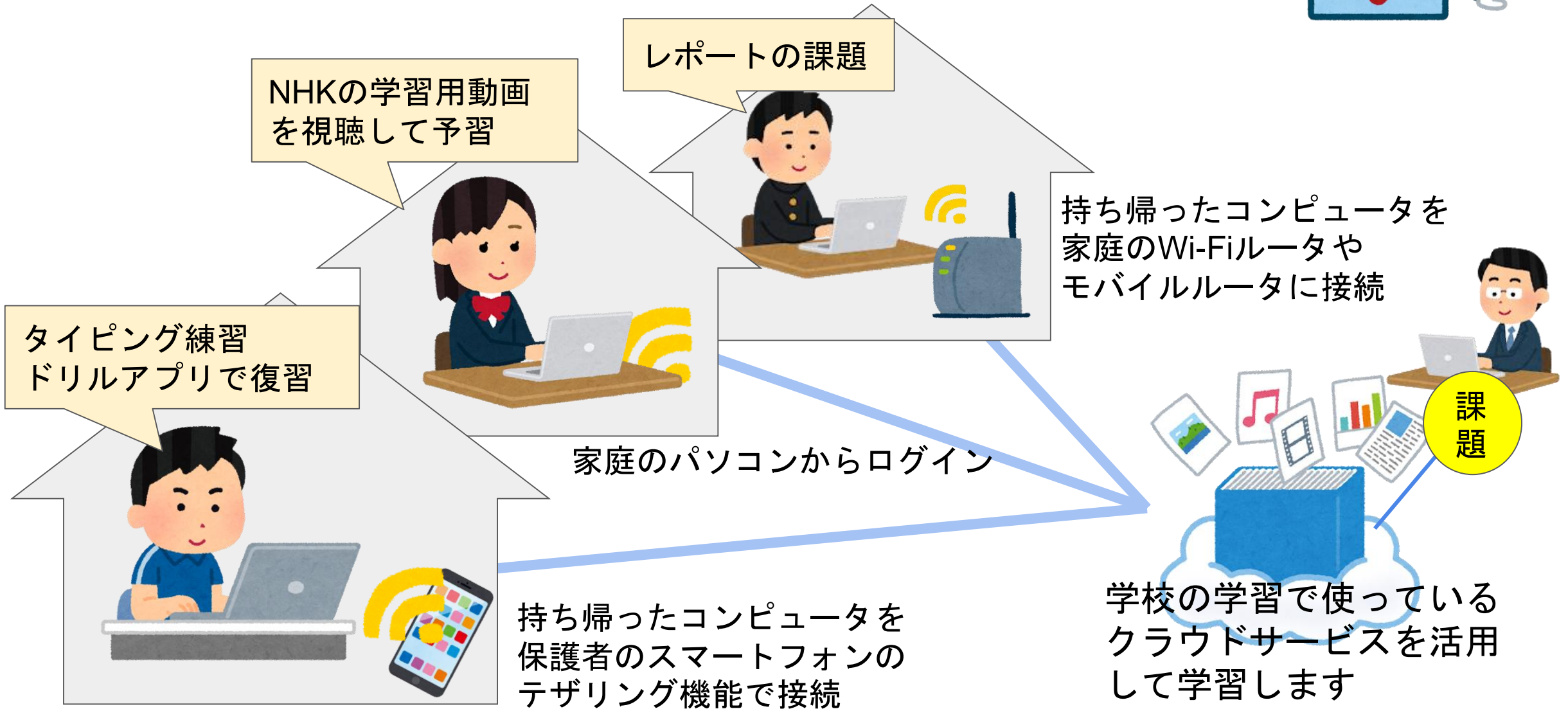
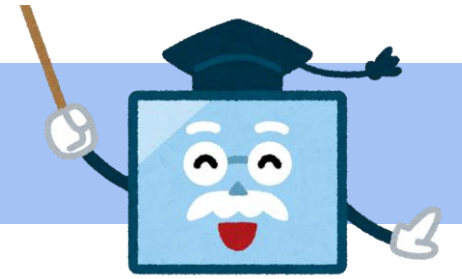
学校だけでなく、家庭でもICTを活用した学びをすることで

- ①コンピュータをノートや鉛筆と同じ学びのツールとして使える力を育てる
- ②非常変災における臨時休業のときにも遠隔でコンピュータを学習に使える力を育てる

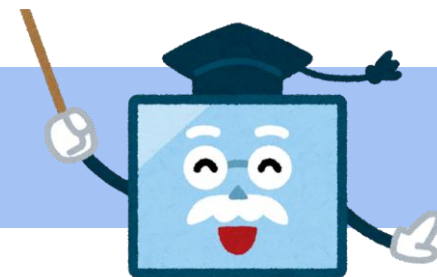




# コンピュータを使った家庭学習のイメージ図



# 南アルプスGIGAスクール 持ち帰り学習



## 開始時期

2学期が始まって、1週間ほど経った9月から順次開始します。

## 回数

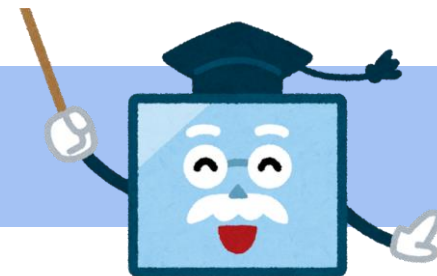
はじめは1週間に1回から初めます。

慣れてきたら、回数を学年や学級に応じて変えていきます。

## 内容

学校で使い慣れているアプリを活用した宿題がでます。

# 家庭学習の具体例①タイピング練習



(先生)

クラスルームの  
掲示板で  
宿題を提示

(児童生徒)

掲示板で  
宿題を確認  
宿題をして  
スプレッドシート  
のリストに記入

(先生)

児童生徒が  
記入した  
スプレッドシートを  
確認し、コメントを送信

目標タイムを決めて  
タイピング練習を  
10分取り組みましょう



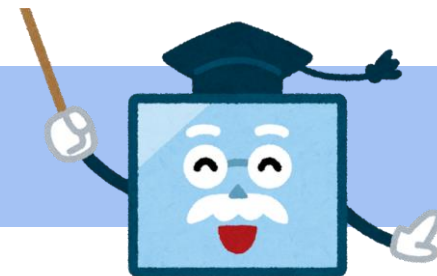
今日の目標は〇〇だ！  
がんばろう！！



〇〇さん、  
目標達成おめでとう！  
よくがんばったね



# 家庭学習の具体例②カメラ活用



(先生)

クラスルームで  
宿題を提示

話し合いで使うので、  
カメラで、好きな本の表  
紙を取ってデータを提出  
してください



(児童生徒)

カメラ機能を使い  
対象のものを  
撮影して、課題を  
提出する

「星の王子様」にしよう  
パチリ



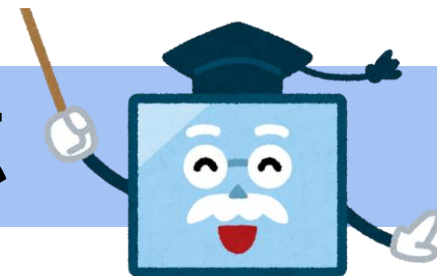
(先生)

児童生徒が提出した  
写真データを  
整理して、授業で  
話し合い活動をする

Jamboardに貼り付けて  
写真をもとにして  
話し合ってみよう！



# 家庭学習の具体例③NHK for Schoolの視聴



[Link](#)

(先生)

連絡帳での連絡と  
クラスルームで  
宿題を提示

今日はこのページの動画を  
視聴して、感想を書き  
ましょう



(児童生徒)

提示されたリンクを  
開き、NHKの教材  
動画を視聴して  
感想をシートに入力

スチールウールが燃える  
ところなんだ。。。  
なるほど！



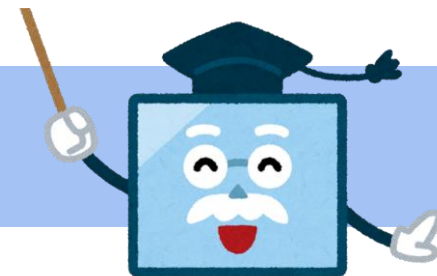
(先生)

シートに入力された  
感想を確認にして  
それぞれに  
コメントをする

〇〇さんは、酸化物とい  
う言葉を使って感想を書  
いているね、OK！



# 家庭学習の具体例④ドリルアプリ



(先生)

ドリルアプリで  
宿題を設定

今日は算数のベーシック  
ドリルの2-8に取り組み  
ましょう！



(児童生徒)

ドリルアプリで  
指定された  
宿題に取り組む

ストップウォッチの  
読み方がわかったぞ！！



ピンポン！

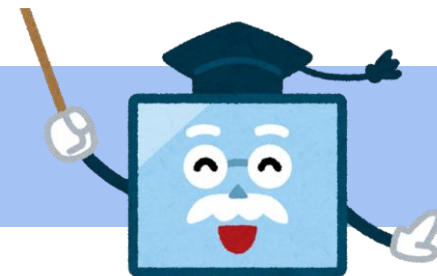
(先生)

一人ひとりの取組の  
様子をコンピュータで  
確認して、指導に活かす

ここが得意で、苦手な  
ところはここか～、  
明日詳しく教えよう！



# 家庭学習の具体例⑤音声入力を使って音読



(先生)

連絡帳での連絡と  
クラスルームで  
宿題を設定

国語のP68～P69まで  
を音声入力で  
音読しましょう！



(児童生徒)

Googleドキュメント  
の音声入力を使い  
音読練習をして  
ファイルを提出

「一つだけちょうだい。」  
これがゆみ子のはっきりおぼ  
えた・・・・・・・・



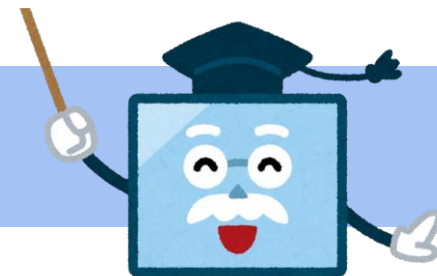
(先生)

提出されたファイルを  
確認して、  
コメントしたり、  
指導に活かしたりする

〇〇さん、がんばって  
いますね。



# 家庭学習の具体例⑥課題の続きをすすめる



(先生)

学校で取り組んでいる課題の続きを宿題で進めるよう伝える

国語で取り組んでいる感想文の続きを宿題で進めてください



(児童生徒)

「授業」のページの取り組んでいる課題を開いて、課題の続きに取り組む

自分のペースでじっくり考えて進めるぞ



(先生)

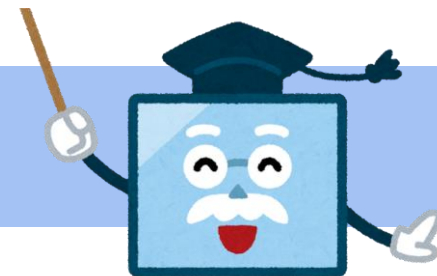
一人ひとりの進捗状況を確認してアドバイスを送信する

〇〇さん、本論ですが、具体例を一つ示すといいと思います。





# 家庭学習の具体例⑦緊急時に備えた練習



(先生)

クラスルームで  
オンライン  
ミーティングの  
予告をする

今日の5:30から  
30分のうちに1回、  
クラスのMeetに来てね!



(児童生徒)

時間内に  
クラスルームから  
Meetのリンクを  
押して参加する

先生、こんにちは。  
参加しました!



(先生)

ミーティングを進めて  
参加状況を見たり、  
通信上の課題を確認  
したりする

しっかり接続できまし  
たね。大丈夫ですね。



# 今年度の成果

- ❖ 児童・生徒にとってコンピュータが学習ツールの一つとして利用できるようになった。
- ❖ 授業や学校行事でコンピュータの積極的な活用が行われ、教職員の活用スキルが上がった。

# 今後の課題

- ❖ **スムーズな年次更新の仕組みづくり**
- ❖ **「令和時代の日本型教育」に対応した授業研究**
- ❖ **教職員のICT活用指導力の向上**
- ❖ **非常変災時のオンライン活用の充実**



御清聴ありがとうございました

Google  
for Education

